

『花を訪ねて： コスモス；レモンブライト』

昭和記念公園散策報告 (2022年10月02日(日))

昨年からの懸案であった「昭和記念公園」に黄色のコスモスを観にゆくことにした。

幸い雲一つない快晴である。10時に西立川駅改札前に伊藤さん、初めてお会いする浦野さん、柳沢さんとゲストの浮津さんと計5名集合した。昭和記念公園は国営なので有難いことに、年金者は一般者の半額以下の¥210円である、中学生以下の子供は無料。早速入園、「みどころMAP」を貰ってさあ出発。

右回り進むことにした。日曜日なので、子供が多い、BBQの準備をした家族連れなどで賑わっていた。「もみじ橋」を渡り「ハーブの丘」(春：“ネモフィラ畑”)に行くと、ススキの“オバケ”のような「パンパスグラス」の株がある。金木犀の3m位の巨木があった。花は満開なのに芳香を感じない、嗅覚がおかしくなったのかと心配になったが、他の人もあまり感じないと聞き安心した。銀木犀の木もあり、金木犀は園内いたる所で満開の花を付けていた。「日本庭園」近くに満開の「ジニア」の畑があった。園内を回る「観光トレーン」には今日はお客さんが沢山乗っていた。大福、お団子などを売る屋台店が出ている、「三福」即ち「幸福」「裕福」「大福」だそうだ。

お目当ての「花の丘」へ出た。眼前の斜面に真っ黄色のコスモス、「レモンブライト」の畑が広がっている。丁度良い見頃で素晴らしい景観である。花苑の中の道には、黄色の扉と柵のみが道から少し脇に設置されていて、写真撮影用の“額縁”を作っていた。ここの園は入口で宣誓書を提出して犬を連れ込むことができるので、チワワ、ブル、プードルなどの中・小型犬を連れた人が多い。丁度この扉の処で2匹の小型犬を連れたお嬢さんが犬の写真を撮っていたが、浦野さん、この犬さんと「ツーショット写真」を撮った(お嬢さん、ありがとう)。さらに丘の奥に進むと北側に花畑があり、オレンジ色の「キバナコスモス」や「コスモス：センセーション」(普通のコスモス)の畑が広がっていた。

「花の丘」から「こもれびの里」を通り、「みんなの原っぱ」へ向かう。「原っぱ東花畑」は「ブーケガーデン」と称し、種々の草花の混栽地になっていた。コスモス、キバナコスモス、鶏頭、ジニア、秋明菊、コキアなど。そのまま進み、立川駅方面へ向かう。東端の「あけぼの口」から出る、丁度12時になっていたの、今回も駅北口にある「サイゼリア」に行くことにした。

尋ね宛てて行くと、少し待っている人が居るが大したことはないが、5名と多いので順番がきても後回しにされた。まあ窓側の6人席になりほっとする。アルコール組とノンアルコール組がいるが、仲良く乾杯、今日のご苦労様でした。しかし今日は浦野さんの“ワンマンショー”だった。驚いたことに浦野さん、実に多才、多能だ。山歩き、テニスは以前から聞いていたが、俳句／川柳、書道は免許状持ちの師範、ダンスは先生をしている、コーラスも……。今朝も6時からテニスを終えてここに参加したし、20歳台の若者と4時間打ち合うことができると。9月中旬には伯耆大山に登って来た由。本格登山だけではなく、鎌倉などにも歩きに行くという。幸手市の「権現堂堤」の彼岸花の話を聞いたので、来秋には行ってみたいと思った。

1時間強話にも花を咲かせてから、13時半に店を出たが、店の前には20人以上の人が待っていた、安いので人気があるのだ。立川駅で中央線、南武線に分かれて流れ解散した。



コスモス：レモンブライト



キバナコスモス



ジニア

